

---

# Super Dolphin Project

## 運営基盤

---

Seagaia Meeting in KYOTO

2004

中島裕生

# これまでの経緯

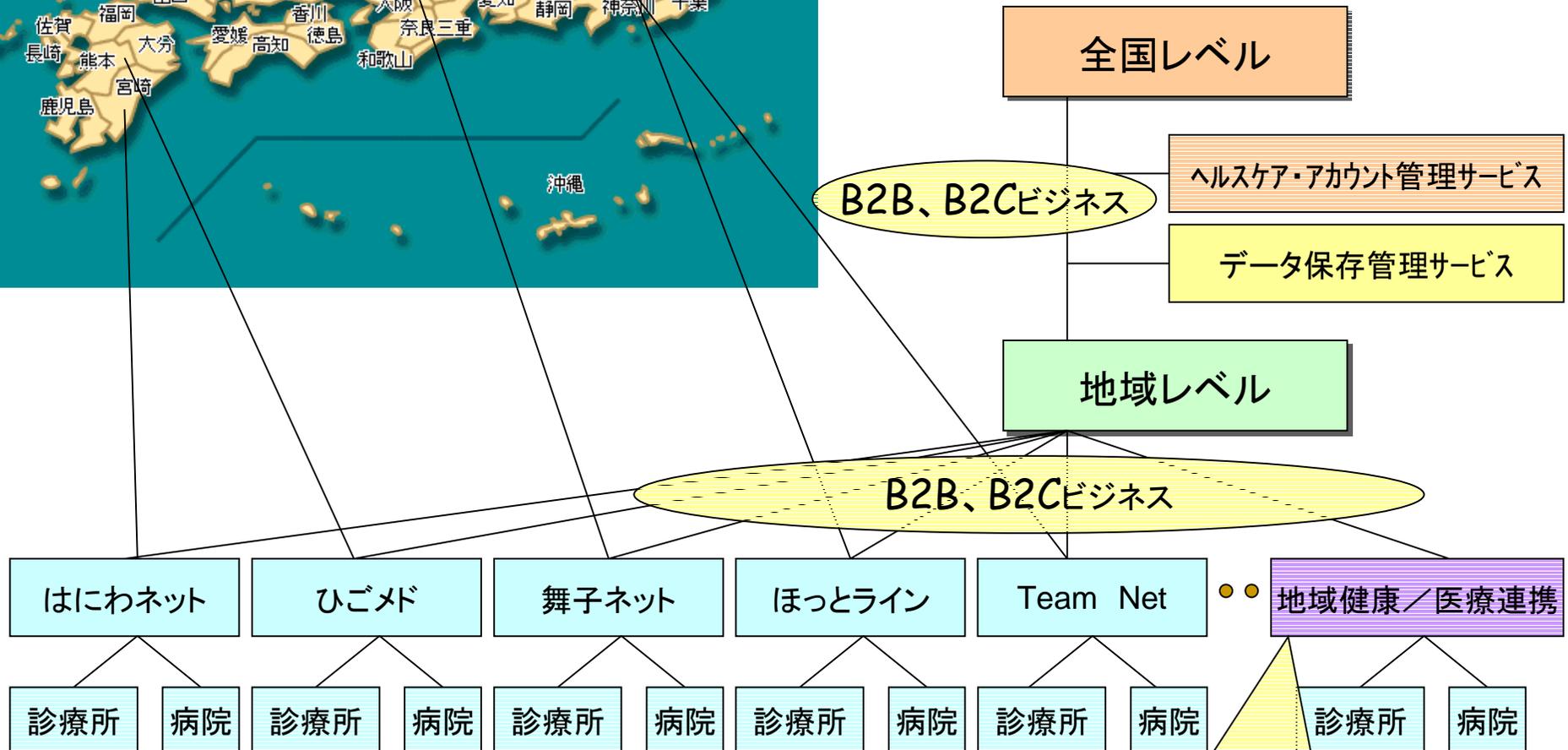
- 3月17日プロジェクト検討キックオフミーティング開催
  - 主催者側出席者
    - 京都大学 吉原教授
    - 東京都医師会理事 大橋先生
    - 宮崎医科大学 荒木教授
    - NPO MedXMLコンソーシアム 中島裕生
  - 参加企業 12社 + 1NPO法人
    - ニッセイ情報テクノロジー、セコム、東京電力、ベルシステム24、東京三菱銀行、三井住友銀行、トーマツコンサルティング、NTTコミュニケーション、コニカミノルタフォトイメージング、日本経済新聞社、新日鉄ソリューションズ、NTTマーケティングアクト、NPO TEAMNET
- 3月31日フォローアップミーティング開催

# ミーティング内容

- ①**全国レベルの医療情報基盤サービスのあり方**  
ニューコンセプト提供: 吉原先生、大橋先生  
＜コンセプト概要＞
  - 吉原先生 ”全国レベルの連携医療サービス基盤立ち上げの必要性とビジネスモデル”  
<http://fc.kuh.kumamoto-u.ac.jp/~yoshi/sdp/>
  - 大橋先生 ”将来へ向けた構想「健康ノート」”  
<http://www.ocean.shinagawa.tokyo.jp/hot/index.html>
  
- ②**サービス継続のための経営基盤のあり方**
  - 新ビジネスのデザイン、ビジネスモデル検討の進め方、組織運営形態について、スケジュール
  - 荒木先生 ”宮崎ウェルネス事業”
  - 中島裕生 ”Dolphinの持つビジネス要素とその発展”
  
- ③**SuperDolphin Project運営組織の立ち上げについて議論**



## Super Dolphin の構成

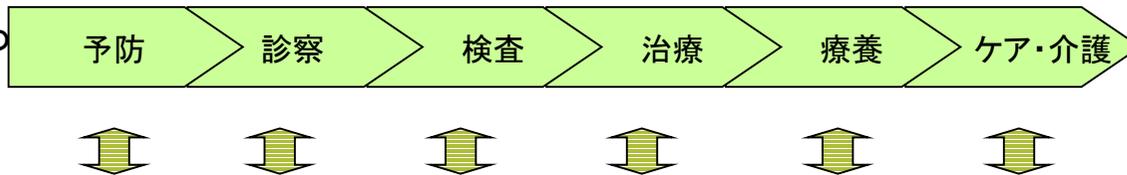


低コストゲートウェイ方式  
(ポータルサイト) 普及

# Super Dolphin



個人のライフ  
サイクルに亘つ  
たヘルスケア  
情報管理



## ディレクトリ・サービス



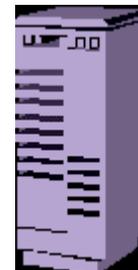
予防(健康増進、美容)、診察、検査、治療、療養、ケア・介護に関する個人ヘルスケア情報の所在地管理と具体的参照、ヘルスケアに関係する従事者(医師、医療機関を含む)の **who's who**

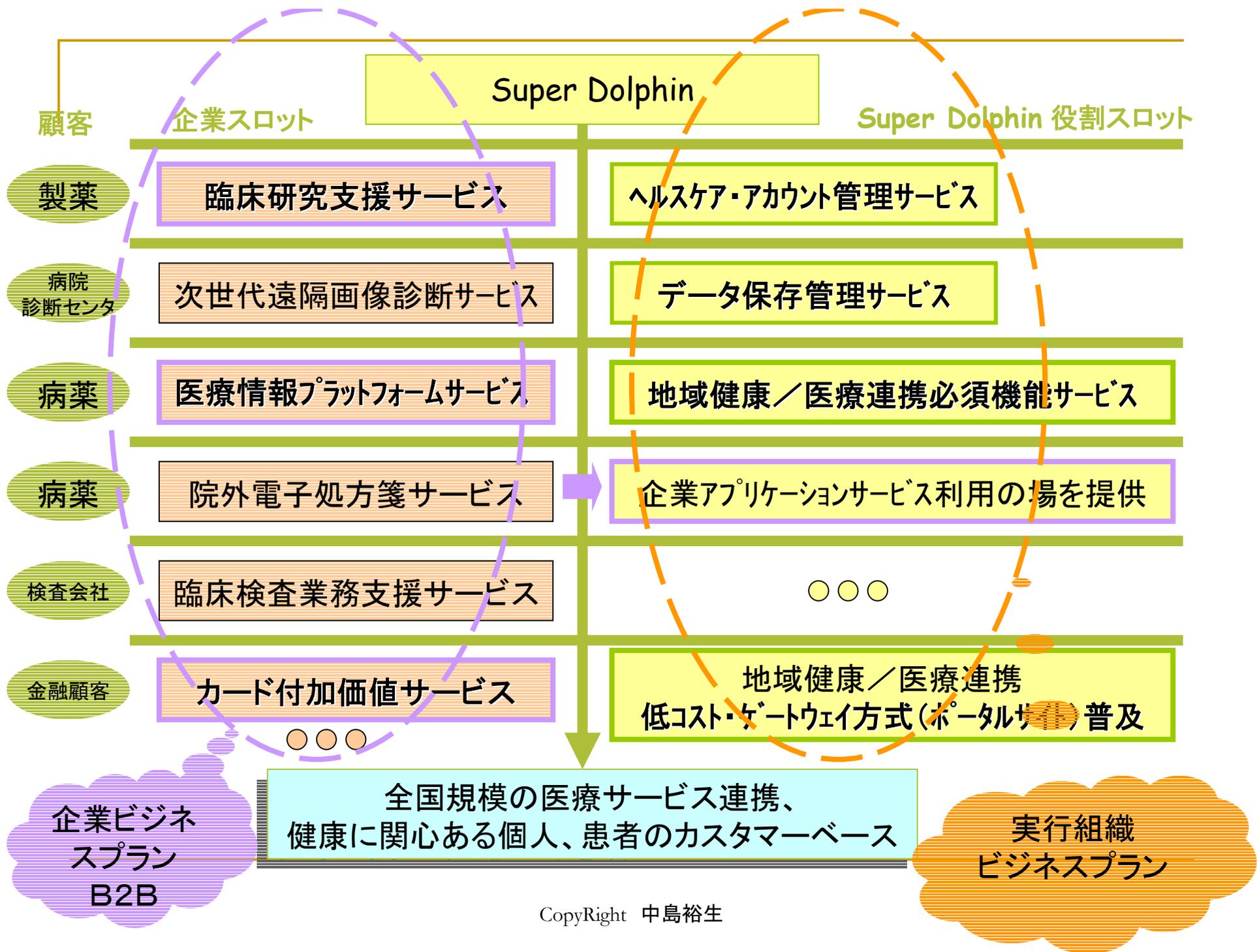
## 健康ノート・サービス

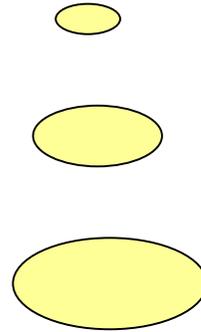


個人向けディレクトリサービスと、ヘルスケア情報の転記と医師による説明記録、個人健康記録

## データ保存 管理サービス







## **Super Dolphin Project**

**18社、1NPO法人、**

**1工業会(5月7日現在)**

# 今後の進め方

- Super Dolphin WG(SDW)役割
  - 運営組織検討
    - 営利/非営利、法人形態、出資/投資受け入れ...
  - ビジネスプラン策定
  - 有志メンバー作成による“SuperDolphin 運営組織”原案について検討
- Enterprise Slot WG(ESW)役割
  - 有力なサービス発掘
  - 各ビジネスプラン策定
    - 技術上、行政上の実現性検討
- 今年度内実現に向けて、実現サービスに対応したスーパードルフィンのインフラでスタート

